

東京電力福島第一原子力発電所海水配管トレンチ内部 閉塞工事が内閣総理大臣感謝状を受領

当社が施工した「東京電力福島第一原子力発電所海水配管トレンチ内部閉塞工事」に対し、内閣総理大臣から感謝状が授与されました。

この感謝状は、東京電力福島第一原子力発電所の海側に位置する配管トレンチ内部に事故後滞留していた高濃度汚染水を除去した功績を称えたものです。作業員の被ばく線量と汚染水の漏えいリスクを低減させ、厳しい環境下で作業を完遂したことが高く評価されました。

配管トレンチはタービン建屋とスクリーンポンプ室を結ぶ配管などを収納する地下トンネルです。2～4号機の配管トレンチには原子炉・タービン建屋から漏出した大量の高濃度汚染水が溜まり、除去が喫緊の課題となっていました。工事では、当社技術研究所の協力により、新たな充填材を開発し、作業員の被ばく線量を抑制して汚染水の漏えいリスクを最小限に抑えながら確実かつ迅速な施工を実現し、海水配管トレンチ内部への充填を2015年12月21日に完了させました。

感謝状は、4月10日、福島県いわき市で開催された「第1回福島第一廃炉国際フォーラム」で原子力災害現地対策本部長を務める高木陽介経済産業副大臣兼内閣府副大臣から授与されました。4月14日には、工事を担当した福島土木統合事務所の日比康生所長と当社グループのカジマ・リノベイトの大村秀樹所長をはじめとする現場職員約40名が首相官邸を表敬訪問し、日比所長が職員を代表して安倍晋三首相に御礼を述べ、工事の概要などを説明しました。安倍首相は「困難な中で一步一步作業を進めて頂いたことに心から感謝申し上げる。国民の皆さんが成果に注目している。これからその期待に応えて頂くようお願いします。」と工事への謝

辞を述べると、放射線量を低減させるために作業で着用したものと同じタングステンベストを試着し、職員一人ひとりと労いの握手を交わしました。

今回の感謝状受領と首相官邸訪問を受けて日比所長は「震災後5年間、全国の支店から応援を得て、様々な緊急工事に対応してきました。その努力が国から認められて頂いた感謝状は、社員・作業員に対する最高の激励でした。今後も安全を第一に、廃炉作業を進めていきます。」と語りました。

当社は、これからも様々な技術開発を進めながら、福島第一原子力発電所の廃炉作業に貢献してまいります。

